

協働パイロット事業 (H27) 企画提案書

団体名：丸子まちづくり協議会

1 事業の名称

丸子宿発！語り部 MAP でまちあるき

2 事業の概要 (市民ニーズや協働で取り組む意義を踏まえて記載してください)

現在静岡市が取り組んでいる「二峠六宿」事業。今までも、そしてこれからも大切な静岡市の文化資産であり、観光産業の中核となるものです。本来なら市民の誇るべき町の自慢だと思えます。しかしながら、家康公没後400年もそうですが、市民レベルでどれだけ認知されているか、家康公のことを、静岡のことをどれだけの人が「好き」であるか。非常に「もったいない」現状であるのではと思います。そして、自分の住む町を好きになることこそが、静岡市が現在抱える「人口の流出」という大きな問題の一つの答えだと考えます。

そこで、丸子まちづくり協議会では、①地元の方々と共に地域の歴史を掘り起し、②それを整備、情報をまとめ、③地域の次代に伝えていく活動をしていきます。まずは知ること。今まで知らなかったまちの歴史を知ることが、かつて家康公が自らの意志で選んだまち、「駿府」を取り戻し、次の400年に私たちがつなげていく一つのきっかけになればと思います。

☆「語り部MAP」 <地域×人>

今も、お元気な語り部を紹介。今までの活動・経験がすべて財産となる。

☆語り部お話し会(仮称) <人×人×場所>

地元の歴史は古老に聞け。聞いてみなければわからないことは多々あります。昔のことなら尚更です。「昔はこうだったんだよ」と町のそもそものお話を、若い世代が地域の神社仏閣や公共施設に集まって聞きます。

☆語り部と歩く <人×宿場>

聞いたところを実際に歩いてみる。「聞く」+「訪れる」という経験を通して町の歴史を知る。

☆町のお菓子とともに <人×地域×食×歴史>

お話を聞きながら地域に伝わる食文化も味わう。お菓子・簡単なお料理・お飲物など。歴史的な背景のあるものや、今現在の特産品なども。

団体名：丸子まちづくり協議会

3 協働して事業を行う際、貴団体の担う役割と静岡市に担って欲しい役割

市管理の公共施設の使用と全面的な協力。(丸子宿では「体験工房駿府匠宿」)
HPでの告知。情報発信。告知のためのチラシ作成。二峠六宿に携わる各種団体との連携を協働で行う。

団体名：丸子まちづくり協議会

4 事業計画・実施スケジュール

6～7月 8月開催に向けての告知活動。チラシを長田西小学区内全戸配布。facebook 上での情報発信。

「語り部 MAP」印刷

8月2日 第1回 「語り部お話会」(仮称)

(参加費) 一名¥500 小学生¥300

(場所) 体験工房駿府匠宿内の工房にてお話会。その後、実際に泉ヶ谷を散策。

丸子紅茶&丸子の歴史的なお菓子付き

10～11月 第2回「語り部お話会」

丸子宿を歩き、現地で語り部のお話を聞く(開催場所は調整中)

丸子のお菓子付き

2月 第3回「語り部お話会」

丸子宿を歩き、現地で語り部のお話を聞く(開催場所は調整中)

丸子のお菓子付き

団体名：丸子まちづくり協議会

5 実施体制及び主要スタッフの経歴

◇実施体制

丸子まちづくり協議会内の教育部会・観光部会・広報部会。協力団体として、体験工房駿府匠宿(協働)。さらに常葉大学生率いる「東海道スイーツ」プロジェクトチーム。静岡市の行政計画「まちみがき戦略推進プラン」の評価委員によって構成されるグループ。

実行委員長として有限会社丁子屋専務取締役・柴山広行を中心とする7名のメンバーで構成される。(有)丁子屋の歴史は丸子・静岡の歴史。その歴史と知名度を活用し、地域の歴史文化、伝統文化を残す努力をする。今回の活動は実行委員長の理念でもある「もっと日本を好きになる」にそった活動の一部である。

団体名：丸子まちづくり協議会

6 特にアピールしたいこと (専門性、独自性、先駆性、実績、2年間継続することの効果など)

静岡市が保有する「二峠六宿」に着眼し、静岡市の特色作りと観光強化に向かった活動だと考える。そして、宿場を「人のつながりの場」ととらえ、既存の枠組みにとらわれない各種団体や地域内での連携、行政との協力体制は「チーム静岡」としての新しい形と考えている。今後は六宿すべてにおいて、市管理の公共施設を中心とする語り部活動の取り組みを波及させていきたい。世代を超えて、地域を超えて、同じ静岡に生きる人々にとって、その場の歴史文化を「他人事」から「自分事」に変えるきっかけになれば嬉しい。「静岡を好きになる」方が一人でも増えることを願う。

「振り返れば未来が見える」

本来のシティプロモーションとは、その地域を愛する思いが情報となり、活動となり、自然発生的に外部に伝わること。静岡市の歴史を知ること、未来に残すべき静岡が見えてくるはず。

協働パイロット事業 (H27) 見積書

団体名： 丸子まちづくり協議会

企画のタイトル： 丸子宿発！語り部MAPでまちあるき

項目	金額	説明
語り部MAP印刷	110,000	5000部
ワイヤレスマイク	11,800	ワイヤレスマイク・スピーカーセット
事前打ち合わせ交通費	34,500	① スタッフ2名×¥500=¥1,000 ② スタッフ5名×¥1,500=¥7,500 スタッフ2名×¥500=¥1,000 講師 1名×¥2,000=¥2,000 お話会1回分①+②=¥11,500 ¥11,500×3回分=¥34,500
事務所経費	30,000	お話会1回分¥10,000×3回=¥30,000
講師報酬	30,000	お話会1回分¥10,000×3回=¥30,000
小計 A	216,300	
消費税 B=A×0.08	17,304	
合計 A+B	233,604	

◎実費弁償契約の希望の有無 有 無

※ 参加費の徴収、物品の販売、提案団体の自己負担等、委託料以外の財源がある場合

収入見込み額	金額	主な用途
参加費 (1名¥500×1回40名 ×3回)	60,000	参加者のお茶・お菓子 講師報酬